

ニュース 玉 手 箱



衝突実験で事故の怖さ学ぶ



か もしかクラブが7月9日（火）と10日（水）の2日間に町内3つの保育園で行われ、ダミー人形「とびたくん」を使った衝突実験で交通事故を再現し、園児が交通事故の怖さを学びました。

実験では、自動車がクラクションを鳴らしながら猛スピードで人形に向かってくると園児らは顔をゆがめ、衝突の瞬間には急ブレーキの音に思わず耳や目をおおったり、泣き出す子もいて事故の怖さを体感していました。そのあと、園児らは道路に飛び出さないことなど交通ルールを再確認していました。

ふるさと大石田懐かしむ

首 都圏大石田会総会が6月16日（日）に東京都の銀座東武ホテルで開催され、参加者がふるさと大石田の話に花を咲かせました。首都圏大石田会には、首都圏に暮らす大石田町出身者など約200名の方が加入しています。36回目の開催となった今年の総会には約80名の方が参加しました。

総会に続いて行われた親睦のつどいでは、木村里美さんが民謡を披露したほか、大浦花笠踊り保存会のメンバーが大黒舞や元祖花笠踊りを披露しました。踊りの輪には会員の方も加わって、楽しいひと時を過ごしていました。会では、秋に会員が大石田町を訪れる「ふるさと訪問」も計画しています。



みんなで登ろう大高根山

や まがた百名山に数えられる大高根山（標高542.9m）に登る町民登山が7月7日（日）に行われ、約20名が町で一番高い山の頂上を目指してさわやかな汗を流しました。町民登山は登山道を整備している「大高根山の会」（遠藤廣吉代表）が企画して毎年行われています。

参加者は、大高根山の南側のピーク八森山（標高511m）を通るコースをのぼり、八森山山頂からの景観や尾根歩きを楽しみながら、およそ2時間で大高根山の山頂に到着しました。山頂からは大石田の街並みが一望でき、参加者はさわやかな汗をぬぐいながら眺めを楽しんでいました。



ケーキ作りに挑戦

ウ ロコヤ総本店で7月6日（土）に「わくわくお菓子教室」が開催され、町内の小学4～6年生10名がホールケーキ作りに挑戦しました。

お菓子教室は大石田町総合体験活動事業の一環として行われたもので、子どもたちはお店の菓子職人に指導を受けながら、丸いスポンジケーキにイチゴなどのフルーツをはさみ、パレットナイフを使って生クリームを周りに塗る作業を行いました。子どもたちは、滑らかにクリームを塗ろうと真剣な表情で取り組み、色鮮やかにフルーツを飾っておいしそうな4号サイズのケーキを完成させていました。



きれいな川を大切に

大 石田北小学校の4年生児童による水生生物調査が6月27日（木）にすいか橋近くの丹生川で行われました。これは自分が住む地域の川について知識を深め、川を大切にしてもらおうと国土交通省新庄河川事務所が企画したものです。子どもたちは水の中に入り、河川事務所職員の指導を受けながら川底の石をひっくり返して指標となる水生昆虫を採集しました。

調査ではきれいな水を好むヒラタカゲロウ類などが多く見つかри、調査地点の水質は「きれいな水」と判定されました。河川敷にごみを捨てない、汚水を川に流さないなど、きれいな川を守っていくため、みなさんのご協力をお願いします。



食中毒ゼロ目指して

食 中毒予防キャラバンの広報活動が7月1日（月）に行われました。これは高温多湿になり、食中毒が発生しやすくなるこの時期に、町内の食品を扱う業者で組織する北村山地区食品衛生協会（有路栄太郎大石田支部長）が毎年行っているものです。

役場玄関前で出発式が行われたあと、会員や保健所の職員などが車に乗り込み、食品の迅速な調理や十分な加熱などを呼びかけて町内を回りました。また、あったまりランド深堀では、温泉の利用者にチラシとウェットティッシュを配り、家庭での食中毒防止を呼びかけていました。

